

図書館業務紹介

「CONNECTING TO OCLC...

HELLO HELLOW」

中央図書館整理第二課 寺嶋直子

HELLO HELLOWではじまるメッセージが画面に表示されると、検索の開始。これからは、時間との戦いです。

本学図書館が、1987年10月に日本初のOCLCユーザーとなった事は、以前の館報でお知らせしました。図書整理の際に将来の電算化に備えて、単に目録カードを作成するだけでなく、そのデータをMTに蓄積するという作業が以前より進められており、洋書に関しては、LCのマークテープより自館所蔵分のレコードを抽出し、ノーヒット分についてはオリジナル目録を作成し自館のMTに入力していました。このオリジナル分を何とか省力化できないかと考え、世界最大の書誌データベースをもつOCLCを導入する事にしました。

〈目録作成手順〉

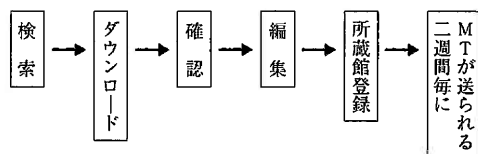


図-1

当館におけるOCLC使用による目録作成手順は、図-1のようになっています。まずオンラインで検索し、ヒットすればその書誌データをフロッピーにダウンロードします。そして検索終了後、フロッピーよりデータを印刷出力し、図書との照合をおこない、確認できれば一件ごとにIDナンバーを付与しま

す。修正があればそれも書き込みます。そしてその原稿をもとに、画面上で修正し、IDナンバーを入力します。この編集作業はオンライン上で直接できますが、経費節減のために、マイクロ・エンハンサーというワープロ機能もあるソフトを使用する事によってオフラインで編集しています。この方法は、時間的な制限もなく非常に便利です。編集が終了すると、オンラインでそれらのデータを一括してアップロードします。これで、OCLCに自館の所蔵が登録され、2週間ごとに、そのデータのMTが送られてきます。ただし、OCLCは、総合共同目録の考え方であり、編集された書誌データをオンライン上で見る事はできません。自館では書誌データに誤りがありOCLCのマスターファイルを訂正する必要がある場合は、訂正箇所を規定のレポート用紙に記入し代理店経由でOCLCに郵送しています。カード出力については、OCLCからも可能ですが、印字があまりよくないなどの理由で、紀伊国屋書店でカードを出力しています。実際にカードを受け取るまでのタイムラグは約2週間です。

〈検索方法〉

OCLCにおける検索の種類とその方法、検索例を図-2に示しました。このように、OCLCの検索方法は、非常に簡単なものになっています。

<数値サーチ・キー>

	(例)	(検索キー)
I S B N :	0-8191-3947-5	0819139475
L C 番号 :	84-5105	84-5105
I S S N :	0021-3221	0021-3221
C O D E N :	AISJB 6	aisjb 6
O C L C 管理番号 :	18752341	#18752341
政府刊行物番号 :	GA1.13:MWD-76-109	gn:ga11376109

<取り出しサーチ・キー>

	(例)
個人名	Cotham, Perry C.
(4.3.1)	coth, per, c
団体名	French Folklore Society.
(=4.3.1)	=fren, fol, s
タイトル	For whom the bell tolls
(3.2.2.1)	for, wh, th, b
名称/タイトル	Muirhead J. H. Theory of life.
(4.4)	muir, theo

*ただし、件名検索は出来ない

図-2

<接続時間>

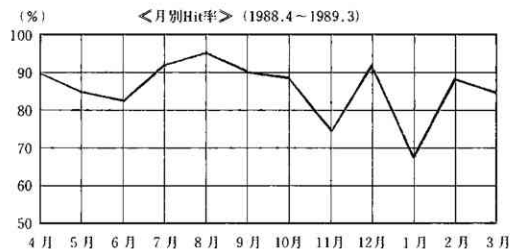
日本での接続時間は、時差の関係上、11月～3月は、19:00～翌日12:00、またアメリカで夏時間を採用している4月～10月は、18:00～翌日11:00になります。

<ヒット率>

OCLCの最大のメリットはヒット率の高さであるといえます。ユニーク書誌レコード数は、アメリカの日付で7月12日に2000万件を突破しました。当館でも、マイクロ・エンハンサーを使用して新規レコードをあらかじめフロッピーに入力し、それを一括アップロードするという方法で新規入力しています。OCLCに新規レコードが登録されると自動的にそのレコードにOCLC管理番号が付与されます。その管理番号から推測しますと、一括アップロードの場合、1件登録されるのに約1分かかりますので、1分間に3～4件は新規レコードが入力されていると思われます。また、新規入力レコードに1500万件目、1600万件目といったキリの良い管理番号が付与されると、そのレコードを刻んだ金の楯が贈呈され、OCLC NEWS LETTERで紹介されるというユニークな制度があり、当館でも

2000万件目にトライしましたが、1999万4000件の翌日には、既に2000万件を越えていました。

さて、表-1のグラフは、昨年4月から今年3月までの当館におけるヒット率を示しています。端末機が1台しかなく、また接続時間や回線料などの問題もあることから、過去5年間に出版された図書に関しては、従来通りまずLCのマークテープを検索し、ヒットすれば、そのレコードを抽出していますので、それ以外の図書をOCLCで検索する事になります。従って、平均ヒット率は、当館の場合には、OCLC利用者の平均ヒット率94%より低く、85.9%となっています。また、このグラフでは、11月と1月にヒット率が非常に低下していますが、これは、これらの月に1950年頃までに出版されたコレクションを数種類検索したためです。例えば、Steam and the Industrial Revolution Collection という1800年頃から1900年頃にかけて出版された190冊の図書を検索したところ、ヒット率は76%でした。また、出版年が1850年頃から1950年頃である Scottish Banking History Collection 231冊のヒット率は65%でした。出版年が古い図書でも7割程度はヒットするので、やはりヒット率は高いといえるでしょう。



*注 検索対象 : 1982年以前に出版された単行本
 1983年以降に出版された単行本で、
 IIS-MARC ノーヒット分

総登録件数 (1989年3月まで) : 7911件
 平均ヒット率 (1988.4～1989.3) : 85.9%

表-1

<マルチヒットについて：レコードの共存>

OCLCでは、1つの目録対象物に対して複数の書誌レコードの共存を認めている場合があります。例えば、U S、U Kなどのナショナルマークについては、共存が認められています。

また、書誌階層については、各館の方針によって選択できるように書誌単位の違った書誌レコードの共存が認められています。もちろんU Sマークにおいても、同様に、1つの目録対象物に対して一括記入の書誌データと分冊扱いにした書誌データの2種類が存在している事があります。ユーザーは、もしもOCLCのデータベースに適切なレコードがない場合には、書誌単位の違う書誌レコードを新規に入力する事ができます。

この方針は、非常に柔軟性があり活用的ですが、OCLCでは、オンライン上でローカルな書誌データを見ることができませんので、未完結のセットものを整理する場合には一貫性を欠く可能性があり注意が必要です。当館でも、第1巻～第5巻は一括記入、第6巻は単行本として処理したというケースが初期の頃に発生しました。

同様にデータタイプの違う書誌レコードの共存も認められています。OCLCのデータはU Sマーク・フォーマットに準拠して作られていますので、シリアルとモノグラフではフォーマットが違ってきます。当館では年鑑本は図書として受け入れのたびに処理していますので、図-3のようなシリアル・フォーマットのデータがヒットしても、それを使用することができません。このような場合にモノグラフ・フォーマットで新規入力することができます。

このように、OCLCではユーザーに活用されているならそのデータは重複とはみなさずに共存を認めています。従ってユーザーは強制されることなく各館の方針に従って処理することができるとともに、検索の際に、複数存在している書誌レコードの中から自館に

最も適したレコードを選択する必要があります。

```
Screen 1 of 2
LKU - FOR OTHER HOLDINGS. ENTER dh DEPRESS DISPLAY RECD SEND
OCLC: 15122845 Rec stat: c Entrd: 870128 Used: 890424
Type: a Bib lvl: s Govt pub: Lang: eng Source: d S/L ent: O
Repr: a Enc lvl: Conf pub: O Ctry: ctu Ser tp: Alphab: a
Indx: u Mod rec: Phys med: Cont: Frequn: a Pub st: c
Desc: a Cum ind: u Titl pag: u ISDS: 1 Regul: r Dates: 1986-9999
1 010 87-642058 // r89 #z sn87-40041 #z 86-40192
2 040 YHM #e YHM #d WAU #d IUL #d DLC #d
OCL #d DLC #d NST #d HUL #d NST #d NSD #d DLC #d
NST #d DLC #d HUL
3 012 3 #b 3 #c x #i 8810
4 019 15502400
5 022 0 0898-588X
6 042 lc #a nsdp
7 043 n-us...
8 050 00 E183 #b, S795
9 082 00 320.973 #2 19
10 090 #b
11 049 LKUA
12 210 0 Stud. Am. polit. dev.
13 222 00 Studies in American political development
14 245 00 Studies in American political development.
```

```
Screen 2 of 2
15 260 00 New Haven: #b Yale University Press, #c
c1986-
16 265 Studies in American Political Development,
Department of Political Science, University of California, Los
Angeles, CA 90024
17 300 v. ; #c 24 cm.
18 310 Annual
19 362 0 Vol. 1-
20 651 0 United States #x Politics and government #x
Periodicals.
21 850 AAP #a AU #a AzTeS #a CSt #a CU-Riv #a
CU-S #a Cty #a DLC #a DeU #a FU #a GASU #a ICarbS
Ia INS #a IaU #a InLP #a InU #a KMK #a KyU #a LU #a
MH #a MH-KG #a MH-PA #a MNS #a MdU #a MiD #a
MiDW #a MoSU #a MoU #a NBuU #a NCH #a NIC #a NN
#a NNC #a NSyU #a NeD #a NcRS #a NcU #a Nhd #a
NhU #a NjP #a NjR #a NmU #a OCU #a OU #a OKU #a
OrU #a PU #a TU #a TxCM #a TxHR #a ViBbV #a ViU
#a ViW #a WaU #a WyU
22 890 Studies in American political development.
```

<典拠コントロールについて> 図-3

```
OCLC: 8168110 Rec stat: n Entrd: 840411 Used: 880618
Type: a Bib lvl: m Govt pub: Lang: eng Source: I11us:
Repr: a Enc lvl: Conf pub: 0 Ctry: enk Dat tp: s M / F / B: 10
indx: 0 Mod rec: Festschr: 0 Cont:
Desc: a Int lvl: Dates: 1981.
1 010 81-165688
2 040 DLC #c DLC #d m / c
3 020 0856353620
4 050 0 NX180. S6 #b S4 1981
5 082 0 700 / . 1 / 03 #2 19
6 049 LKUA
7 100 10 Scruton, Roger. #w en
8 245 14 The politics of culture and other essays / #c
Roger Scruton.
9 260 0 Manchester : #b Carcanet Press, #c 1981.
10 300 245 p. ; #c 23 cm.
11 650 0 Arts and society #x Addresses, essays, lectures.
12 650 0 Politics in art #x Addresses, essays, lectures.
```

図-4

図-4は、OCLCでヒットした書誌レコードの打ち出し例です。

OCLCでは、LCの件名典拠及び名称典拠ファイルをオンラインで検索することができます。ただ、この典拠ファイルは、書誌データファイルとはリンクされていない、独立したファイルなのです。

OCLCでは、標目に≠(サブフィールド)wを付加する事によってAACR2形式の確認を明示するというOCLC独自の方法をとっています。例えば、図-4の7行目のTag 100の右端の≠wにcnというコードが付与されています。これは、この個人名標目をLCの名称典拠ファイルより転記されていることを示しています。

OCLCは、1980年12月にAACR2を採用するにあたり、それまでに書誌データファイル中に存在していた標目とLC名称典拠ファイル中の典拠標目とを照合し、大規模なAACR2形への標目の変換作業をおこないました。例えば(例)のように、個人名標目をLC名称典拠ファイル中の典拠標目に置き換え、以前の標目を相互参照として同じレコード中の別のフィールド、Tag 870に移すという作業です。そして、新しく置き換えたTag 100の標目の右端に≠w cnを付け加えました。

(例) Tag 100 Watson, John Selby, ≠d 1804-1884.
Tag 100 Watson, J. S. ≠q (John Selby), 1804-1884. ≠w cn
Tag 870 ≠j 100/1 ≠a Watson, John Selby, ≠d
1804-1884.

この作業は、個人名標目だけに限らず、統一書名などについてもおこなわれ、それぞれ違ったコードが付与されています。

この変換作業は、1987年にもおこなわれました。そして、変換されたレコードには、Tag 040の≠dに、m.c.(1980年変換分)、または、m/c(1987年変換分)というコードが付与されています。

ユーザーが新規入力する際に、個人名標目をLCの名称典拠ファイルより転記した場合には、cnというコードは使わず、1nというコー

ドを使用します。そしてこの1nは、次のOCLCシステムによる変換作業がなされる時まで残されます。このように、ユーザー付与のコードと、変換作業の際にOCLCシステム上で付与されるコードは区別されているのです。

また、書誌レコード中の件名標目についても現在、典拠変換が進行中です。

目録作成の際に、最も手間のかかるものが典拠作業ですが、≠wの明示により、ユーザーは再度確認する必要がなく非常に典拠作業が軽減されています。

以上、大まかに、OCLCについてユーザーの立場から概略を述べました。

現在もなお増加成長しているこのデータベースを使用して、洋書整理冊数は、以前の年平均11,000冊から、'88年度には、18,000冊へと一挙に増加しました。また、OCLCのデータ・フォーマットは、USマークに準拠しており、USマークを使用していた当館にとって、何らシステムを変更する必要もなく導入は非常にスムーズだったといえます。接続時間や回線料の問題は残りますが、CD-ROM(当館では未使用)の使用によりかなり解消されつつあります。このCD-ROMはカード出力も可能であり、今後、新たな風を吹き込む事になるのではないのでしょうか。

(参考文献)

- 1) OCLC 『OCLC マニュアル』
第2巻, 第3巻
今まど子 翻訳監修
紀伊國屋書店 1988
- 2) Burger, Robert H.
『データベースの典拠作業』
松井幸子, 内藤衛亮 訳
丸善 1987
- 3) OCLC 『Online systems : serials format』
3rd ed. 1986
- 4) 「OCLC now」, May 1988.
紀伊國屋書店